

時間割

【選択必修】 ⑥幼稚園を巡る近年の状況変化と幼稚園教育 〈オンデマンド配信〉

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/17 (火)	1限	9:00～10:30	幼児の主体的・対話的で深い学びと教師の関わり	現行の幼稚園教育要領では、「幼児の主体的・対話的で深い学び」という言葉が導入されました。しかし、この概念は曖昧です。この授業では、この言葉が導入された意味、幼児期の学びの意味、「主体的・対話的で深い学び」の考え方、及び教師の援助の留意点について講じ、保育実践の在り方について考えます。	榎沢良彦	講義	郵送試験	特になし
	2限	10:40～12:10	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅰ) -意欲的な子どもを育む保育のあり方	教師はだれもが意欲的で健やかな子どもの育ちを願って日々保育に取り組んでいる。しかし、園によってその実践にはかなりの幅があり、特色がある。本講では、いくつかの園の実践を紹介しながら、意欲的で健やかな子どもを育てるための保育のあり方・保育者のあり方などについて多面的に検討し、受講者それぞれが複眼的視点から子どもや保育を捉えられることを目指す。	鈴木隆	講義		
	3限	13:10～14:40	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅱ) -保育の質を高める園内研修	幼稚園においては、遊びを中心とした保育が展開される中で、園内の教員が園のすべての幼児の育ちを理解し、チームで保育にあたっていくことが必要とされる。また、近年は子どもの育ちが多様化し、保護者の価値観も複雑になってきている。これらの状況を踏まえながら園内研修の意義と重要性を再確認し、園全体で幼児の育ちを支えるための研修の在り方を検討する。	柿沼芳枝	講義		
	4限	14:50～16:20	幼稚園を巡る近年の状況(Ⅲ) -園の国際化	教育の国際化が急速に進む今日、幼稚園も例外ではなくなりつつある。例えば、幼稚園を巡る近年の状況として、外国にルーツをもつ子どもたちが一緒に学び日々の園生活を送るようになってきたことがあげられる。そこでは、言葉、生活習慣、子育て観などの文化の違いから、さまざまな問題が顕在化している。この科目では、幼稚園の国際化への対応について考えていく。	渡部晃正	講義		

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

*** 講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**